

樹 姉 ば よ り

No.127
2015.05



慈 悲 喜 捨

藤波は、咲きて散りにき、
卯の花は、今ぞ盛りと、あし
ひきの、山にも野にも、ほと
とぎす、鳴きし響めば、うち
なびく、心もしのに、そこを
しも、うら恋しみと、思ふど
ち、馬打ち群れて、携はり、
(以下略)

『万葉集』大伴池主
藤は咲きて散り、卯の花
は今を盛りと咲き誇り、山
にも野にもほととぎすが鳴
くと、気持ちちがひかれて、
それが気になつて親しい友
と仲良く馬を連ねて見に
行つてみる、の意。

新緑を帯び、葉桜が瑞々
しく美しい頃になると、赤
や黄色のチューリップが盛
りとなる。そして甘い香り
に誘われて多くの虫たちも
集まる、紫の長い房をすだ
れのように伸ばして咲く藤
の花が満開となる。五月は、
自然のエネルギーがみなぎ
り、心地よい気候である。
藤の花にちなんだものに
「藤娘」(ひな人形)や能の
曲目「藤」がある。「藤娘」
は行楽に出かけていく娘達
を表したもので、能の「藤」
は、次のような筋である。
都の僧が加賀の国より善
光寺へ向かう途中、越中の
国多胡の浦に立ち寄ると、
折しも藤の花盛りであった
ので、僧は藤を眺めながら

「おのが波に同じ末葉のし
をれけり、藤咲く多胡の恨
めしの身ぞ」という古歌を
口ずさみます。すると一人
の女が現れ、なぜ数ある藤
を讃える古歌の中から、そ
の古歌を詠んだのですかと
僧を咎めます。僧はその女
をあやしく思い身の上を尋
ねます。すると女は自分は
藤の精であると言ひ花の影
に消えていきます。(中入
り)多胡の浦で一夜を過ご
そうと決めた僧は法華経を
読誦して花の下に仮寝の夢
を結ぼうとします。すると
藤の精が再び現れ「読経の
お札に歌舞をなすために現
れたのです」と伝えます。
藤の精は春の夜の月に照ら
される下、藤の名所多胡の
浦の四季と藤の美しさ、ま
た汀の松に掛る藤の風情を
謡い、舞い見せ、やがて曙
の霞の中に消えるのでし
た。

純粹に藤の美しさを表現
している曲と言えよう。

さて、明照体育館への備
品の搬入や使用方法が決ま
り、待ちわびていた新体育
館の使用が始まりました。
一階は相撲部、卓球部(男
女)、少林寺拳法部(男女)、
二階はバスケットボール部
(男女)、三階は、ダンス部
と、トレーニングなどで使
用します。

教頭 尾内 正彰

根を養えば

樹はおのずから育つ

「学力」は「読書力」

私は、本年度より図書館

長として奉職しておりま
す。樹徳高校百一年目のス
タート、創立二百周年に向
けての新たな一歩という記
念すべき年に、これからの
樹徳教育を創る一員になれ
たことを大変誇りに思うと
ともに、職責を全うし、少
しでも学校のお役に立てる
よう精励していく所存で
す。

樹徳高校の職員室の朝は
清々しい黙想から始まりま
す。生徒に向かい合う前に
先ず職員が身を正し、自分
自身と対峙しスタートす
る。このような体験は、私
自身初めてのことで。以
前から樹徳生を見ていて、
清楚で落ち着きがあり、
ちよつと違うなと感じてい
ましたが、仏教を基にした
人間教育が学園生活の隅々
にまで施され、だからこそ

規律正しい生徒が育てられ
たのだと、職員として体験
し、領きました。

廊下ですれ違う時のあい
さつ、返事、歩き方、皆
素晴らしいのです。「心即
行」が実践されているので
す。ここで学べば、社会貢
献できる人材が育つであろ
う。わずか数週間ですが、
生徒達の様子を見ていて実
感しました。私自身も師と
して範となるよう、背筋
を伸ばし、何事にも真摯に
向き合い、「〇〇させてい
たきます」という積極的
な気持ちで行動していき
たいと思っています。

今回は、私が本に興味を
持ったきっかけと、生徒達
がよりよい学園生活を送る
ために、心の糧となる読書
のお話をしたと思います。

大作に向かい、読破した
喜びを感じたのは中学生の
時、担任の先生に薦められ

たロマン・ロランの「ジャ
ン・クリストフ」でした。
読み始めてみたものの、と
にかく難解でした。ただ、
少しずつ進めていくうちに
物語がズンズンと心深く入
り込んできて、没頭したの
を覚えています。それから
は、トルストイ、モーパッ
サン、ドフトエフスキー
……等々、未知の世界に
入っていく面白さに夢中
になりました。大学では児童
文学に傾注しました。児童
文学者の故・今江祥智氏の
ゼミに入り、通学の電車の
中で絵本や児童文学書を広
げる毎日でした。メルヘン
の世界にあつという間に入
り込めてしまう読書の楽し
さを味わいました。教師に
なつてからも、子供達によ
く読み聞かせをしました。

お話を伝えるツールは様々
ありますが、読み手によつ
て表現が変えられる本はや
はり魅力的でした。「一日
四食『本ごはん』、自分の
言葉で考えられる人になり
ますよ」と子供達にはいつ
も話していました。

テレビもパソコンもと
色々なメディア媒体が氾濫
している今日の状況の中
で、大人も子供も、じつ々
り本を読む時間が少なく

なっている現状ですが、樹
徳高校の図書館は山紫水明
の地桐生を晴々と見渡せる
「正道館」最上階に位置し、
蔵書数も豊かであり、また
調べ学習に適する専門書も
多数所蔵しています。学習
室としてのスペースも充分
にあり、静かに、じっくり
と学習できる環境が整って
います。

「学力」は「読書力」と
言われるように、読んで理
解する力が付かないと、ど
の教科も実力が発揮できま
せん。どうかよりよい人生
の友となる「本」との出会
いを経験してほしいと願っ
ています。図書館教育を通
し、私自身も学び続け、さ
らに成長していきたいと思
っています。どうぞよろ
しくお願いいたします。

「書物」 西条八十

雨がふるとき、
風邪引いて
すてきな遊びができぬとき、
子供よ、書物を読みなさい。
書物はあなたをつれていく、
海山こえていく千里
知らない国や、とほい国
見たこともない人たちや、
また、
めずらしい動物が
あなたと遊び、話する。

書物を読めば、
友達はいつも出てくる、
眼のまへに。
どんなに大事にしまつても、
万年筆や、カメラなど、
なくしてしまふことがある。
書物はいっぺん読んだらば
あなたの心の奥ふかく
じつとそのまま残っている。
書物がくれる財産は、
一生消えない、
なくならない。

時代を超えて 書物に対
する思いは不変です。

(図書館長 児嶋 敦子)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 5月の行事予定

17日・24日(水) アートスクール「編み組み教室」主催 野村ナナ子さん

21日(木) 七草ゼミナール塾 主催 上野文雄さん

9日(土)・24日(日)・30日(土) 販売実習

①相田みつを美術館取り扱い商品

②星野富弘美術館取扱商品

新入生の皆様

ダズ入学おめでとう ダズいます

第一学年 学年目標

○望ましい生活習慣の確立と、人間関係の形成
○学力の向上と、学習習慣の定着

毎日の努力が実る時

男子部学年主任
狩野剛



私たち人間にとって「自分の人生をどのように生きて行くか」ということは重大な課題です。ほとんどの人は、当たり前のように高校へ進学したと思います。が、高校では、将来どのような職業に就いて生計を立てていくかを考え、具体的な就職先を決定したり、目指す職業に就くために、進学する上級学校を決定する必要があります。ですから、高

校生活の三年間は、「人生の分岐点」となる時期だと言っても過言ではありません。私は昨年度、三年生を担任しました。そこで卒業に伴う生徒たちのさまざまな喜びや悲しみを見てきましたが、改めて強く感じさせられたことは、「最後まで努力を継続することによって得られるものは、きわめて大きい」という事実です。あと一步というところで失敗する人の多くは、「あと一步」を甘く見たことによつて失敗しています。もし、その人が、物事を始めた当初の意気込みや緊張を最後まで持続して怠ることがなかったら、失敗は免れたでしょう。そう思われる

ケースが非常に多いのです。そして、このことは『百里の道は九十九里をもって半ばとす』という諺によつて裏打ちされています。

新入生の皆様には、先人の轍を踏まない、つまり同じ失敗を繰り返してほしくない、というのが私の切実なる願いなのですが、現在の皆さんの中には、未開の原野に入り込み、何をどうしたらよいのか見当もつかずにいる人が多いと思います。しかし、安心してください。本校は、生徒たちの希望を叶えることに全力を注ぎ、大きな実績をあげてきた学校で、その教育活動は、社会的にも高い評価をいただいています。ですから皆さんに必要なのは、「本校の指導に従つて、努力を続ける」ことだけなのです。

誰もがご存じの通り、努力を継続するのはけつして簡単なことではありません。しかし、高校での三年間が自分の未来を決定するということを常に念頭に置き、『臥薪嘗胆』の故事を我が事にできたなら、あなたは満面の笑みで卒業の日を迎えることができるでしょう。

皆さんの新しい出発に際して、次の一文を贈ります。

「未来に向けて」

現在には二つの側面がある。過去の結果としての側面と未来の要因たる側面である。後者の側面を大切にすべし。

身体と精神

女子部学年主任
柴田千枝子



桐生市を包む山々に爽やかな新緑が溢れる中、樹徳という大樹は、樹齢一〇一年目を迎え、その下に集う生徒たちの、平成二十七年の生活が始まりました。新入生の皆さんは、樹徳に何を求め、どんな目標を達成しようとしているのでしょうか。それが明確になつている人も、まだ漠然としている人もいると思いますが、樹徳には、どちらの人間にも有効な、数多くのプログラムが用意されています。また、教師集団も全力であなたをサポートします。ですから、皆さんが前向きな姿勢で努力していこうという心構えさえ

持つていければ、未来への道は自ずから開けていくでしょう。では、どうしたら前向きな姿勢を持つことができるのでしょうか。「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉があります。現代におけるこの言葉の解釈は、これを語ったユウエナリスの意図とは異なつてしまつていようですが、身体と精神に密接な関係があることは確かで、その事実については、多くの人が経験済みだろうと思います。高校生活を有意義なものにするために、皆さんは、まず食事や睡眠をはじめとした、基本的な生活の在り方を点検してください。それが良き将来に繋がる第一歩です。

第1学年 担任紹介

コース	クラス	担任・副担任
男子部 総合	J 1	長谷川幸弘・小野澄一郎
	J 2	大島哲平・木村喜文
	J 3	保科知彦・須藤康雄
	J 4	内藤雅人・戸室雄一
	特進 SS	〔主任〕 狩野 剛
	進学 K1	山崎 寛
女子部 総合	j 1	禪野卓葉・〔主任〕 柴田千枝子
	j 2	林 千佐・田村行輝
	j 3	渡邊秀明(国)・大館佐知子
特進 特進	ss	佐伯雄二郎
	k	内田富明・田島珠未
一貫校	4-1	〔主任〕 進藤友宏
	4-2	家住 誠・須藤喜代子

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、二名の生徒作文から紹介します。

高校生活に向けて

一年K2組 須田山裕伍
(太田北中出身)



囲の期待に応えられるようなプレーをしたいと思えます。全力で取り組むことで、自ずと甲子園が近づくはず

私が樹徳高校に志願した理由は、「甲子園」を目指せる環境が整っていて、自分の目指しているレベルの高い野球があると感じたからです。また、野球だけではなく、大学進学にも力を入れていて様々な進路を選択できるからです。この二つの理由から樹徳高校に志願しました。樹徳高校ならこの目標を達成できると感じています。

毎日全力で野球に取り組むことができるのは、学校が私たち生徒を全面的に支援してくださっているのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、周

思います。自分も「文武両道」を目指して頑張りたいと思います。

樹徳高校は、創立百周年を超える伝統校です。その樹徳生としての誇りをもってこれからの学校生活を送ります。先輩方が受け継いできた樹徳高校の伝統をしつかりと継承していきま

す。期待と不安が入り交じる複雑な心境ですが、きつと楽しい高校生活になると信じています。自分で決めた道であり、一度きりの人生を悔いのないよう全力で駆け抜けたと思います。

樹徳高校で

「修行」するにあたって

一年ss組 齋藤ひかる
(桐生広沢中出身)



樹徳高等学校。校舎の外観やパンフレットなどでし

か見たことがなかったこの樹徳で今、私は文武共に修行の道を歩もうとしています。

私がここで「修行」という言葉を用いたのは、この樹徳高校における「勉強に励むこと」や「部活などの運動に励むこと」そして「精神的な学びを深めること」が、自らを高めてくれる「修行」であるように感じられたからです。

授業の進め方や学習方法、入りたい部活など、高校での生活の様子が把握できてくると、樹徳高校はこの自分にとっての選択肢を提示してくれる学校だと、私は思います。

そのアドバイスには、「今日はここまでのページの問題を解く」「公式や単語を覚える」といった学習面はもちろんのこと、「生活リズムを乱さない」「どんなに小さなことにも感謝の気持ちを忘れない」といった、本当に些細なことも含まれています。後者の道徳的要素は、始業時と終業時に朗読する「信条」と「六省」にも掲げられています。

私は、医学部医学科に進



学するという目標を持ち、そのための実力を養うと同時に、この社会で生きていくのに必要な知恵と心の学びを得るため、この樹徳高校を選びました。そんな樹徳には、私たち生徒のことを十分に理解してくださる先生方もいらっしゃいますし、共に競い、そして助け合いながら過ごせる仲間たちもいます。そんな恵まれた環境の中で過ごすこの三年間は、絶対に有意義で充実したものになるでしょう。そして私は、この三年間の修行を成し遂げることにより、目標達成への道が開けると確信しています。

これから私が歩んでいく道には、さまざまな困難が待ち受けていると思います。逃げ出したくなることもあるでしょう。しかし、それらは必ず自らの糧となり、人間として成長させてくれるはずでです。私は周囲の方々の温かい援助の有り難みを忘れずに、この三年間で自分の将来を開拓していく決意です。



一貫校

中学校

だより

◆入学式

桜舞い散る中、第十五回入学式が行われました。六年間の学校生活への期待を胸に、十五期生四十一名が入学いたしました。



【誓いの言葉】

暖かな春の日射しに花のつぼみもほころぶこのよき日、私たち新入生四十一名は入学式を迎えることができました。今、私たちは期待と不安の入り混じった複雑な気持ちです。環境が大

きく変わり、中学校生活は初めてのことばかりだと思います。早く学校生活に慣れるだろうか、先生方は厳しいのだろうかと不安に思っています。反面、新しい友達に出会えること、部活動でみなさんと一緒に活動できることなどを考えると、不安よりも期待に胸がふくらむ思いです。

これから始まる中学校生活では、新しい教科や部活動など今までになかったことが始まります。学校行事では海外語学研修をはじめ、様々な行事があります。これらを通して私たちは心と体を成長させる、将来日本で世界で活躍できる人間を目指します。

本日、無事に入学式を迎えられたのは、家族や多くの方々の支えがあったからと深く感謝しています。校長先生、諸先生方、先輩のみなさん、どうぞ私たちに温かいご指導をお願いいたします。

私達はみなさんの期待に

応えられるよう、樹徳中学校で学べることに誇りを持ち、自分の夢の実現に向け、努力精進することをここに誓います。

平成二十七年四月九日
新入生代表 富田 圭

◆中学校生活の抱負

・勉強と部活の両立 大澤光太郎

・友達と協力し合いたい 太田風季

・忘れ物ゼロを目指したい 大塚直樹

・勉強と陸上を両立し頑張る 加川大翔

・友達をたくさんつくる 川中子琢巳

・勉強と部活をがんばりたい 斎藤 瑛

・勉強と運動を両立させる 杉戸紳悟

・苦手な国語を頑張りたい 須永理生

・部活をがんばりたい 田島 歩

・人として成長したい 花房結音

・色々な事に挑戦したい 山崎魁仁

・勉強を頑張りたい 吉岡優輝

・最後までチャレンジした

・数学と歴史を頑張りたい 青木すみれ

・東大合格にむけてがんばる A・スグルマ

・あいさつを大切にしたい 日部 麗

・すべてを一生懸命やりた 下田真美

・何事も努力をしていきたい 戸塚菜摘

・部活と勉強を両立させた 長倉里奈

・友達を作り、仲良くなり 松永彩花

・無遅刻無欠席でがんばる 榎山沙輝

・勉強を頑張りたい 山崎真理夏

・部活と勉強を両立させる 秋元優走

・何事も努力を継続する 飯泉涼也

・部活と勉強を両立する 今泉雄太

・勉強や部活を両立させた 内川泰次郎

・勉強をなまけずにがんばる 大澤 諒

・勉強をがんばりたい 富田 圭

・時間厳守したい 内藤 翼

・勉強をがんばりたい 萩原祐成

・部活と授業を熱心にやる 廣島崇良

・時間を守って生活したい 深澤宏輔

・苦手をなくしていきたい 藤生大喜

・勉強、部活を両立させる 松本慶次郎

・勉強をがんばりたいです 新井詩織

・勉強とピアノをがんばりたい 宇野聖奈

・人生について学びたい 尾花理子

・勉強と運動を頑張りたい 柏瀬莉緒

・部活、勉強も両立する 高木美蓮

・色々な事にチャレンジする 中里玲奈

・明るく、楽しく過ごしたい 西場瑞記

・勉強をがんばりたい 米川采伽

樹徳中高一貫教育 学校見学会

5/16(土)
9:00 ~ 11:30

- ◆中1 大川美術館見学
- ◆中2 A E D講習会
- ◆中3 海外語学研修説明会
- ◇高校 土曜補習

お問い合わせ等は、前日までに
お電話で。 Tel 0277-45-2257

幼稚園だより

母の会の支援・協力で、幼稚園の責任

力を合わせて

四季を鮮やかに演出する自然に恵まれた樹徳幼稚園。園庭や周辺は八重桜から新緑へと変化し、さわやかな好季節を迎えました。入園・進級から一ヶ月。元気に泳ぐこいのぼりに負けまいと、子どもたちは元気に園庭を駆け回ったり、新設された遊具で元気に園生



やねよりたかいこいのぼり♪

活を楽しんだりしています。また、教室からは朝の歌や園歌、季節の歌が元氣よく聞こえてきます。

去る四月十七日(金)に母の会総会、一週間後の二十四日には役員会が開催され、予算や活動計画を審議・決定し、平成二十七年年度がスタートしました。行事等における支援活動や、協力いただくことに、改めて役員さんをはじめ、会員の皆様に感謝しております。そして、園としての教育・保育の責任を実感しております。

本園は六十三年の歴史を誇ります。大先輩や先人たちが築き上げてきた樹徳幼稚園の意義・役割を再確認し、質の高い教育・保育を実現することで、母の会保護者皆様の協力・支援に応えていく覚悟であります。



がんばってれんじゅう!

入園や進級しての四ヶ月にかけては、クラスでの安定感、居場所が保証された中で、どこまで自分の行動が許されるのかを感じ取る時期です。そして、この時期に大切なのは、一人ひとりが本当に園の中の物は、自由に使って遊んでよいと肌で感じ取り、好きなことをして遊べる自由感を獲得することであり、一方で、好き勝手ではなく何を守るべきかを年齢相応に学ぶことにあります。「遊びを通して学ぶ」とは、好きな遊びを見いだす時間を大切にし、楽しいことや好きなことに集中することを通して、様々なことを学ぶことです。遊びを中心として

頭も心も体も動かして、様々な対象と直接関わりながら、園児たちは総合的に学んでいくことになりま

す。また、幼児期に貴重な自然体験(環境)を通して、その美しさや不思議さに驚き、感動したり、身近な生きものや植物に親しむことで、様々な命の大切さに気付くことにより、「感謝する心」や「思いやり」を育むことができます。樹徳幼稚園では自然に恵まれた環境と共存した保育の中で、五感を十分に使った自然体験により、自然の美しさや、子どもたちの不思議に思う心や感動する心、命の尊さを感じ取れるよう、教育要領をもとに作成された本園の教育課程を確実に実践します。そして子どもたちの「健やかな成長」のために、教職員一同力を合わせて、保護者皆様の期待・信頼に応えていきたいと思

(五月二十三日)において、年長児が高校生のお姉さんと一緒にお点前を披露します。

本園では年長になると、裏千家茶道教授の先生方を講師に「お茶のお稽古」を年九回実施し、その成果を三月に保護者を招待して発表しております。今年のお稽古は始まったばかりですが、子どもたちが一生懸命呈茶を行います。是非、召し上がっていただきたいと思

います。
幼稚園長 瀬谷 茂

入園児募集

満三歳児(年少々) 歓迎します。(満二歳になったら連絡ください) 入園時期についてはご相談に応じます

◎預かり保育は十八時三十分まで(働いていても安心です)

◎送迎は園バスで安心・安全
◎見学はいつでもできます

毎週水曜日の午前中は園庭・遊び教室を開放しています。お出かけください。

お気軽にお問い合わせを!
桐生市広沢町3-4475
0277-153-5571
ホームページ

「賢へだやいー」

<http://www.jutokuei.jp/>
Kinder

「お点前」の披露

樹徳高等学校百周年式典

5月(正思)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	金	学校要覧基本調査作成基準日 授業料納入日 安全点検日	新体力テスト 安全点検日 授業料納入日	安全点検日 保育料納入日
2	土			
3	日	憲法記念日		
4	月	みどりの日		
5	火	こどもの日		
6	水	振替休日		
7	木	歯科検診③ 夏服引き渡し		
8	金	後援会総会準備会		花祭り(大善寺) 体育・文字
9	土			群私幼定時総会
10	日			
11	月	男女合同朝礼	挨拶運動 第1回お役に立とう週間(～17日)	年長・個人面談(～15日) ダンス・文字
12	火	薬物乱用防止講演会		群私幼定時総会
13	水	漢字テスト① マイトリー基金拠金日 県総体壮行会(7時限目) 内科検診②		
14	木	珠算練習開始 歯科検診④		英語・文字
15	金	県高校総合体育大会(～17日)		体育・文字
16	土		中高一貫校見学会① 大川美術館見学(中1) AED講習会(中2) 語学研修説明会(中3)	4・5月生まれ「お誕生会」
17	日	3年河合塾記述模試①		
18	月	LHR 第1回法人役員会		年中・個人面談(～22日) 法人役員会 ダンス・文字
19	火			
20	水	小児生活習慣病健診 貧血検査	早期自主学習(～28日)	内科検診(全学年) 英語・文字
21	木	高校総体陸上(～24日)		
22	金	緑蔭祭会場作成		歯科検診 体育・文字
23	土	創立100周年式典 緑蔭祭・記念講演 二代目校長ご命日(37回忌)	創立100周年式典 緑蔭祭・記念講演 二代目校長ご命日(37回忌)	緑蔭祭参加
24	日	1・2年河合塾全統模試①		
25	月	男女合同朝礼 内科検診③ 検尿②		年少・個人面談(～29日) ダンス・文字
26	火	後援会総会 授業参観		
27	水	中間試験(～29日) 遠足下見1年	中間試験(～28日) 交通安全教室	
28	木	遠足下見3年	避難訓練	群私幼PTA総会 英語・文字
29	金	初代校長ご命日(65回忌) 出欠統計 遠足下見2年 3年就職ガイダンス① 前期教育実習生オリエンテーション		体育・文字 母の会歓送迎会
30	土	樹妙会総会		
31	日	3年学研VSP模試①		



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく